

決算委員会質問

決算委員会は9月議会で設置され、帳票チェック3日、質疑1日の4日間開かれます。

◆市債発行にあたっては市の自主性があってもいいのではないか。

①起債の借入先が幾つもあり、利率の違いがある。今年から自主的に起債できる協議制に移行しているが、昨年と今年との違いはどうか。②府と市町村は同格だ。府の判断や決定に対して異議申し立てができるのか。できる、できないに関わらず、その法的根拠は何か。

◆不納欠損を少なくする取組みは

①時効が完成するまでの具体的な手立てはどうしているのか。②また滞納処分執行停止になるのはどのような事例か。③本市の不納欠損の比率0.5％、未収率4.8％は他市に比べてどうなのか。

◆特別土地保有税の状況について

地方税制改正に伴い、2003年度以降、特別土地保有税の課税を停止し、新たな課税は行わないことになったが、対象の物件はどれぐらいあったのか。

◆住民基本台帳カードは市の負担が大きすぎないか

①昨年までの交付数、交付率はどうなっているか。②付記転出入の件数はどれぐらいか、③住基ネットの費用にかかる経費が極めて大きいのに手数料収入は微々たるものだ。費用対効果が余りにも極端すぎるがどう考えているか。④プライバシー保護の面でも問題だ。市民に不要の事務を押し付けられていることについてどう考えているか。

◆観光協会の実績を図る指標がいるのではないか

昨年度、協会を立上げ1000万円を越す援助をしたが、実績はどうだったか。事業の成果を測る指標として何を考えているのか。本市には全国的な知名度がある観光資源はない。無理をする必要はないようにも思うがどうか。



檜の本陣 茨木市HPより

◆住民活動ボランティア保険の実績はどうか

ここ3年間の請求件数、支払い件数、支払額、契約額はどれだけか。また市民がこの保険を知るきっかけは何か。もっと市民に知ってもらい利用してもらうべきではないか。

◆市民会館、福祉文化会館など使用料の払戻しを考えるべきではないか

会場が狭い部屋から広い部屋に変更の際は差額を徴収するが、逆の場合は払い戻さない。この理由は何か。市民感情からすれば差額の払い戻しは当然だと思う。規定の見直しが必要なのではないか。

◆学校の消耗品と備品について、またPTAからの寄付はなくなったか

消耗品について学校長が専決できる最高額は事務決済規程でどうなっているか。年間一つの学校あたりどれぐらいの費用になっているか。学校備品の種類、品目によって整備している学校とそうでない学校がある。学校備品の購入については、どこで協議し、決定されるのか。消耗品、学校備品は年間一つの学校あたりどれぐらいの費用になっているか。PTAからの寄付は受けてはならない事になっているが一向に改まっていない。昨年度PTAからの寄付についてはどうか。

◆総合的教育力活性化事業の委託料はムダではないか

これはどのような目的で、実際の事業はどんな内容か。事業報告書の会計報告を見ると、全てに近いぐらいほとんどの学校で備品購入 10 万円が使われているが摘要には何の記載もない学校がいくつかある。報告書を受理する際、担当課で何を買ったか記載するよう指導すべきではないか。事業内容が漠然としているし、何をしていたか分からない。事業として消化できないから、もらったお金の使い方に苦慮した結果、備品購入に使う。事業内容が明確でなく、また渡し切りになるのは問題ではないか。

◆視力障害、弱視の児童への配慮はどうなっているのか

小学校情報教育推進事業に約 2 億円もかけている。これによってパソコンの台数は 2004 年、2005 年でどう変わったのか。情報教育として何をしているのか。家庭におけるパソコンの活用についての調査、視力障害、弱視の児童への配慮はどうなっているのか。

◆補助金団体は民主的な運営をしているか

体育協会、社会教育関係 22 団体に補助金を出している。体育協会傘下の競技団体や各文化団体では総会、役員会、会計、事業など適正で民主的運営がなされているか。また競技者や会員から見て役員の補充が知った人に声をかけるといったやり方は不透明で通用しない。誰もが役員に立候補できるような会則がいないのではないか。

◆徘徊高齢者家族支援サービス事業、高齢者虐待防止ネットワーク運営事業

利用申込みの実績はどうか。事業を実施していく上での問題点は。高齢者の認知症の数や虐待についても潜在している数は多いと思われる。PRに努められたい。

◆2 億 2700 万円のガン検診は今のままでいいのか

受診者数は前年に比べてだいぶ増えたのか。精密検査を必要とする人の数、精密検査をして実際のガンが見つかる人はどれぐらいいるのか。見つかった場合、対応が可能な早期のガンと進行して手遅れのガンに分けられるがこれはどうなっているか。肺ガンのように見つかったら手遅れで早期のガン発見に結びつかない検診もある。それぞれの検診について、費用対効果などこのままでいいのか、他市の状況も含めて検討すべきではないか。